

済生会山形済生病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

管理番号	509
研究課題名	ボツリヌス療法とリハビリテーションの併用が上肢機能と手の使用行動に及ぼす影響に関する研究
本研究の目的	中枢神経疾患により痙縮を呈し、当院でボツリヌス療法とその後のリハビリテーションを実施した患者を対象として、上肢機能や手の生活内使用行動の変化を検討する。これらを明らかにすることで、より効果的な痙縮に対する治療方法の検討やボツリヌス療法後のリハビリテーション戦略を検討し、実践するための一助にする。
対象者	脳卒中後片麻痺を呈した患者のうち、ボツリヌス療法を実施した者
研究代表者	リハビリテーション部 武田 宙樹
当院の研究責任者	リハビリテーション部 武田 宙樹
実施（予定）期間	研究期間：倫理委員会承認日 ～ 2024 年 3 月 （調査対象期間 2019 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）
研究方法	診療録より対象者の上肢運動能力、日常生活動作能力のデータを用いて後向きに検討する。
研究に用いる資料・情報の種類	上肢運動能力、日常生活動作能力のデータを用いる。
外部への試料・情報の提供・公表	研究終了後、研究対象者の個人情報保護に措置を講じた上で、研究結果を医学雑誌等に公表する。結果の最終公表を行った場合、遅滞なく研究機関の長に報告する。
個人情報の取り扱い	全てのデータは匿名化処理されており、個人を特定できないよう配慮している。
利益相反	本研究と関連する法人（企業・団体等）は無い
お問合せ先	山形済生病院 リハビリテーション部 武田宙樹、大瀧亮二 023(682)1111